テイスティ高橋の日記

日記を書く

友人の最新日記

まれびと
もう、そうなん！孟宗山（1）
2014年06月21日14:54

仙ちゃん
樹齢何百年？（27）
2014年06月19日23:02

もっと見る

自分の日記

京日記　第六十七段　甲午6月18日
2014年06月19日09:02

京日記　第六十六段　甲午6月17日
2014年06月17日18:48

京日記　第六十五段　甲午6月16日
2014年06月16日20:56

もっと見る

≤　2014年06月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

過去の日記

過去日記の閲覧設定

2014年
01月　02月　03月　04月
05月　06月　07月　08月
09月　10月　11月　12月

2013年
01月　02月　03月　04月
05月　06月　07月　08月
09月　10月　11月　12月

日記の使用状況

1.5MB/200.0MB

<< テイスティ高橋の日記一覧へ　　前の日記 | 次の日記

京日記　第六十一段　甲午6月12日（そのニ）

2014年06月12日22:45

編集する　一部の友人まで公開

阪急「嵐山駅前」駅から、次の次の「上桂」駅で下車。
駅前食堂で早昼食後、西に向かって15分ほど歩いて「−竹の寺− 地蔵院」に着く。

ココも、今朝の鹿王院に似ていて、さして大きな寺院ではないが、特に参道の新緑が美しく、近年、評判が上がっている（写真参照）。

山門前から参道に向かって、ドデカイ三脚を立て、高級カメラで熱心に撮り続けている人がいる。プロなのか？　あまりの迫力に「通行の許可」を求めてしまった。モチロン、承諾を得る必要はサラサラないのだが・・・

境内に進むと、鹿王院よりコケや竹が多く、境内の新緑では鹿王院より映えている（写真参照）。
枯山水庭園（撮影禁止）もあり、羅漢に見立てた16個の自然石で構成されている。

地蔵院：http://kanko.city.kyoto.lg.jp/detail.php?InforKindCode=1&ManageCode=1000091

地蔵院を出て、まん前の道を左（北）に5分ほど歩くと、「苔寺（西方寺）」や「すず虫寺（華厳寺）」に着く。苔寺は、現在「拝観申し込み」をしないと入れない。まだ自由に拝観できた頃、確か3回拝観したが、すず虫寺は初めてだ。

すず虫寺：http://kanko.city.kyoto.lg.jp/detail.php?InforKindCode=1&ManageCode=1000054

行ってみてタマげた！　ギャル・グループ、若いカップルで、狭い寺院があふれかえっている。よほどの人気らしい。「オジサン・老人」は数えるほどしか居ない。

ココは、「華厳寺」というレッキとした臨済宗の寺なのだが、かなり「個性的」というか「ユニーク」である。
① スズムシを四季を通して飼育している
② 僧侶による参拝者への茶菓のもてなしと、説法（約30分）がある
③ 禅寺なのに、願い事を一つだけ叶えるという「幸福地蔵」を参拝させる？

これら積極的な「拝観者招致策」が功を奏し、京都市内の寺院の中でも、特に成功した例として知られる（だから、境内がゴッタ返している）。

本堂に座卓を並べ、一回百人位づつ座らせ、茶菓を喫しながら、法話を聞く。圧巻なのは、前のほうに、すずムシの飼育箱がズラッと並び、全部で約六千匹居るそうで、それらがイッセイに鳴いているのだ。
ほとんど若人ばっかしで、皆、神妙に話を聞いているのは、フシギな光景に見えた。

法話が終わって、枯山水庭園に出ると、ソコは標高131m（京都タワーとまったく同じ高さ）だそうで、京都市街を一望できる（写真参照）。

「人ごみ寺？」を出る。寺を出てホッとするのも珍しい！

スグ近くの、京都バス「苔寺・すず虫寺ターミナル」から、73番に乗り「太秦広隆寺前」で下車。
マツモト・コースで帰った。

地蔵院山門前

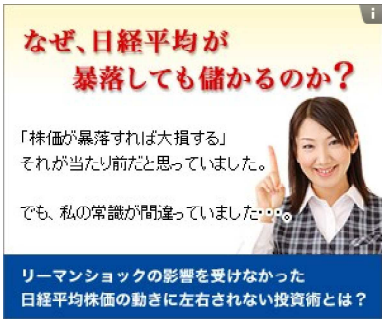
テイスティ高橋さんの近況

京日記　第六十七段　甲午6月
京都140618

京日記　第六十六段　甲午6月
京都140617

京日記　第六十五段　甲午6月
京都140616

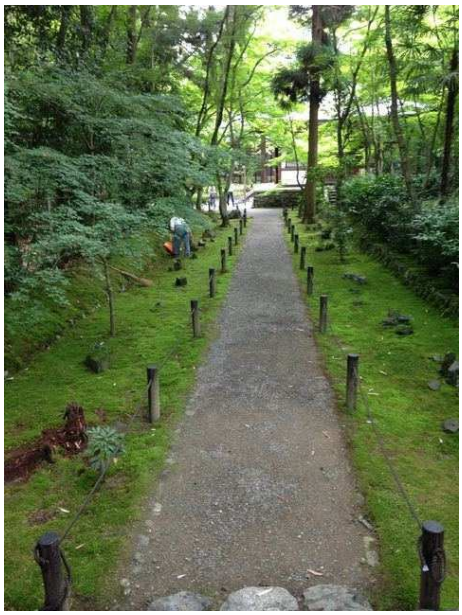
京日記　第六十四段　甲午6月
京日記　第六十三段　甲午6月
京都140614



困ったときには

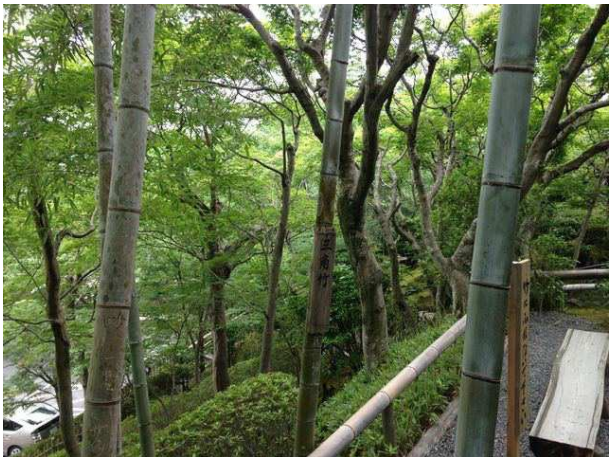
ヘルプトップ
利用上の注意
規約違反の通報

地蔵院境内



すず虫寺入口

すず虫寺境内



すず虫寺展望台より京都市街（中央やや左に京都タワー）

コメント

イイネ！(9)　和柄野™®　タック　ロムママ　京のブッチー　☆マカロン☆　Kuri　鏡ねこ　Jane　まれびと

コメント

Jane　2014年06月12日 22:58
今すぐ上洛したくなりました！o(^▽^)o

コメント

まれびと　2014年06月12日 23:09
嵐山やから「人ごみ寺」になるんでしょうね(笑)
すず虫や説法が、体験型で人気になるのは分かる気がしますf(^_^)

京都の観光は、どのエリアに行くか？がビギナーの選択です。
ワタシも最初はそうでしたもん。エリアの有名所を雑誌片手に巡る…みたいな。

写真や情報を精査しはじめてから、目的をもってポイントが絞れるようになりましたw
高橋さんのように探訪できるまで、もっと勉強したいと思いますぅ(^O^)/

コメント

鏡ねこ　2014年06月12日 23:42
私も先日、松尾大社、鈴虫寺～嵐山に行ってきました。
鈴虫寺は、人がいっぱいで、驚きました(^^;;

コメント

Kuri　2014年06月13日 00:37
地蔵院 鈴虫寺 まだ訪れた事がないのですぅ。地蔵院はゆっくりと味わいたいお寺さんの様ですね。
まれびとさんのコメントにある様に そもそも『an・an』『non・no』等の雑誌が京都 奈良を取り上げる様になってから雑誌を抱えてファッション的に京都巡りをする若い女の子達が増えたとおもいます。
なので、メジャーなお寺さんには必然的に人が集まるのでしょうね(>_<)

コメント

テイスティ高橋　2014年06月13日 07:50
> Janeさん　そのキモチ、ワカります

テイスティ高橋　2014年06月13日 08:07
> まれびとさん　私も雑誌記事は、よく読みますよ。
ただ最近は、ネット、単行本、クチコミ、その他と、見る範囲が広がって、前より研究？というか、「取捨選択」することが増えました。
意外に「単行本」って、時々、とんでもなくイイ情報得られることありますね。

テイスティ高橋　2014年06月13日 08:07
> 鏡ねこさん　オオッ、行かれましたか！
すず虫寺だけ、なんか「異質感」みたいなものを感じたのですが・・・

アッ、今、明日、鏡ねこさんのお誕生日と、メッセージが届きました。
「お誕生日、おめでとうございます」

テイスティ高橋　2014年06月13日 08:09

> Kuriさん　基本的に、特に女性は「京都がスキ」みたいですね！
「キライ」と言う人に会ったことありません。
だから女性雑誌は「京都特集」載せて、読者を増やしているのでしょうね📖・・・何しろ「購買部数が減ったら、京都特集！🚀」ですからネ

たか　2014年06月13日 09:26
おお！！鈴虫寺行かれましたか(￣^￣)ゞ不思議なお寺だったでしょう？？僕は好きですけどね(^▽^)そうそう、お菓子くれるんですよね。

コメント

友木　2014年06月13日 15:29
鈴虫寺・・・昔は静かなお寺でした。人気の秘密は　>僧侶による参拝者への茶菓のもてなしと、説法（約30分）がある ・・・からでしょうね。

寺院に静けさとやすらぎを求めますが　忙しいのか拝観者に対してそっけない態度や傲慢な態度の住職や僧侶がいる寺院がありますね。こんな寺院は二度と訪れようとは思いませんね。人混み寺院のほうがいいかもしれません。

コメント

のつのつ　2014年06月13日 17:35
鈴虫寺には昔まだ空いてる時代にはまって1年に二回ずつ通いました。いつも京都観光のスタートはここだったんです。懐かしいな～☆
今そんなに人気になってるんですね!!草履をはいたお地蔵さんに名前と住所と願いごと一つお願いしてきましたか～？

コメント

テイスティ高橋　2014年06月13日 19:30
> たかさん　そう言えば、たかさんも京都観光の最初は、すず虫寺、とか言ってましたね！
初心者には、スゴイ人気なんですネ！

テイスティ高橋　2014年06月13日 19:32
> 友木さん　なるほどネ・・・
「はるかに良心的」という言葉がありますが、それだけのことはしている。ということなんですね・・・

テイスティ高橋　2014年06月13日 19:39
> のつのつさん　たかさん、のつのつさん、友木さん（も？）、皆さん、京都のスタートは、ココなんですネ！

いかに影響力をもった（あの混雑状況なら、今も、もってると思う）寺か、よく解りました！

コメントする

コメントする

利用規約および個人情報保護ページに同意のうえ投稿してください。

日記を書く
テイスティ高橋の日記一覧へ

このページの上部へ

Copyright (C) 1999-2014 mixi, Inc. All rights reserved.